

入 札 公 告

(説明書)

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 8 月 6 日

社会福祉法人<sup>恩賜
財団</sup> 済生会西条病院
院 長 石 井 博

1. 入札概要

- (1) 件名
臨床検査システム 一式
- (2) 内容
別紙「仕様書」による
- (3) 納入場所
済生会西条病院
- (4) 納入期日
令和 7 年 12 月末日

2. 参加する者に必要な事項

次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (2) 参加資格確認申請日から入札実施日までの間、愛媛県知事が行う入札参加資格停止の期間中でない者であること。
- (3) 法人の支部長若しくは支部長の親族（6 親等以内の血族、配偶者又は 3 親等以内の姻族）が役員に就いている業者など、法人の支部長が特別の利害関係を有する業者でないこと。
- (4) 本件の仕様に適合する物品であることを確認できる者であること。
- (5) 本件を納入期日までに納品することが可能な者（確約書要）
- (6) 200 床以上の医療機関において業務委託実績を有すること。
- (7) 同一入札に親会社・子会社（会社法第 2 条第 3 号及び第 4 号に規定）の参加があった場合には入札を制限する。

3. 本件に関する事項等

- (1) 説明書等の配付場所及び問い合わせ先
済生会西条病院 事務長 矢野 泰利 又は 用度課（0897-55-5436）千谷
愛媛県西条市朔日市 2 6 9 - 1
電話番号 0897-55-5100 F A X 番号 0897-55-6766

(2) 説明書及び仕様書の配付

ア 配付期日

令和7年8月6日(水)～令和7年8月25日(月)

イ 配付場所

(1)に同じ。

(3) 入札実施日

ア 日時

令和7年8月27日(水) 10時30分～

イ 場所

済生会西条病院 2階講堂

4. その他の必要事項

(1) 本件において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 保証金

保証金は免除する。

(3) 参加者に要求される事項

本件に参加を希望する者は、事前に参加資格確認申請書を提出すること。

なお、当該申請書の内容に関し、説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

・提出書類

【 8月25日(月) までに提出する書類】

参加資格確認申請書

登記簿謄本(写し)もしくは、官公庁入札参加証明書(写し)

直近年度分決算書(書式自由)

受託業務実績一覧

資本関係・人的関係書

【 8月27日(水) 当日持参する書類】

委任状(代理人の場合のみ)

入札書(3ヶ所に割印・糊つけ封印した入札書用封筒に入れたもの)

入札書・封筒の予備(2回目以降分)

名刺

・提出先 3-(1)と同様

(4) 入札の無効

2に掲げる資格を有しない者が参加した場合

参加者に求められる義務を履行しなかった者が参加した場合

説明書に違反した場合

(5) 契約書作成の要否

要 契約に至った場合には速やかに契約書を作成すること。

(6) 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で、最低価格を提示した者を落札者とする。

予定価格の範囲内の価格での入札がないときは、再度の入札を行う。(再度入札は最低価格を下回る金額を提示のこと。最低価格を下回る入札ができない場合は辞退となる。) 入札回数は3回を限度とし、予定価格の範囲以内にて同額の提示があった場合にはくじ引きにて決定する。落札しない場合においては、最低価格提示者との見積もり協議に移行する。

(7) お願い

入札時、状況写真をとらせていただきます。目的を保管用としており目的以外に使用いたしませんのでご了承ください。

西済生会西条病院 臨床検査システム 一式 仕様書

項 番	機能要件
1	概要
A . 1	基本要件
A . 1 . 1	当該基本要件は、本章以降に記載する臨床検査システム一式を導入するにあたっての基本的な考え方について記載したものである。受託者は導入するにあたり本基本要件を満たした上で納入しなければならない。
A . 1 . 2	物品の搬入、設置調整について、当院の日常業務に支障をきたさないよう、当院関係者と事前に協議すること。また、搬入、設置に当たっては必要に応じて養生を行うこと。
A . 1 . 3	納入作業は、当院担当者立ち会いのもと、その指示に従って行うこと。
A . 1 . 4	本調達物件は、入札時点で製品化されているもので提案すること。
A . 1 . 5	当院が導入予定の臨床検査システムが支障なく運用できるよう、当院で稼働中の電子カルテシステム（MI・RA・Is）と必要な接続を実装すること。また、年度内に予定している電子カルテシステム更新時の連携対応についても想定し、それらの費用も含んでおき検収はその時点にすること。
A . 1 . 6	当院の電子カルテシステムのクライアント端末に相乗り可能なこと。また、年度内に予定している電子カルテシステム更新時の対応についても想定し、それらの費用も全て考慮しておくこと。
A . 1 . 7	サーバ設置場所は、当院サーバ室の指定するサーバラックに搭載すること。そのため、サーバ本体はラックマウントサーバを納品すること。また事前にサーバメーカーの調整を行い搭載ラックの調整を当施設担当者で行うこと。別途費用が必要な場合は考慮すること。
A . 1 . 8	必要スペック等について事前に当院へ提示の上協議し、仮想環境構築に必要な費用を考慮すること。
A . 2	サポート体制
A . 2 . 1	リモートメンテナンスに使用する機器及びソフトウェアを構築すること。
A . 2 . 2	営業日の営業時間中のサポートやリモートメンテナンスサービスが受けられること。
A . 2 . 3	リモートメンテナンスサービスは導入時から7年間対応可能であること。リモート保守費用は入札金額に含むこと。
A . 3	検査システム
A . 3 . 1	データ移行について、新規導入ベンダー及び現行システムベンダー等、データ移行に係る必要な費用は全て当該調達費用内に含むものとする。
A . 4	輸血管理システム
A . 4 . 1	データ移行について、データ移行に係る必要な費用は全て当該調達費用内に含むものとする。
A . 5	HIS連携
A . 5 . 1	HIS連携について、HIS連携に係る必要な費用は全て当該調達費用内に含むものとする。
A . 6	他部門システム連携
A . 6 . 1	当院で運用稼働している診療情報統合システム STELLAR（アストロステージ社製）と連携できること。
A . 6 . 2	当院で運用稼働している健診システム（ICC社）と連携できること。
A . 6 . 3	他部門システム連携について、現行システムベンダー（アストロステージ社・ICC社）等、他部門システム連携に係る必要な費用は全て当該調達費用内に含むものとする。
A . 7	その他
A . 7 . 1	本調達物品の納入に際して必要な費用は全て、本調達費用に含むこと。
A . 7 . 2	ネットワーク設備、電源設備等においても調査を行い、各関係者と協議した上で必要な措置を講じること。また、その費用も考慮すること。
A . 7 . 3	納入業者は既存システムで使用しているハードウェア類の引取廃棄における費用を考慮すること。また、データ保存媒体（HDD等）においては、物理破壊にて復旧不可能な状態にし、当院の確認の上で引取廃棄を行うこと。
A . 7 . 4	当該導入に際して、適宜当院と打合せ及び協議を行い納入すること。

項 番	機能要件
1	概要
A . 7 . 5	納入業者は、情報セキュリティに対して十分な配慮を行うことともに、現地での作業者に対してもセキュリティに関する十分な指導を行うこと。

項 番	機能要件
B	検体検査システム・ソフトウェア（DxLab-LIS S）
B . 1	検査業務管理
B . 1 . 1	検査の進捗状況を常時モニタし、検査状況を常時画面に表示すること。
B . 1 . 2	検査状況を表示する画面では、検体毎に受付番号・患者名・患者ID・検査項目数などを表示できること。
B . 1 . 3	検査状況を表示する画面では、受付番号・患者名・患者IDなどの表示欄目を任意に設定可能なこと。 また、設定はクライアント毎に設定、保存ができること。
B . 1 . 4	検査状況を表示する画面では検査の進捗を色分けによる識別ができること。
B . 1 . 5	検査状況を表示する画面では緊急検体だけの表示ができること。
B . 1 . 6	検査状況を表示する画面では検査部門ごとに別々に表示できること。 また、全部門一括表示ができること。
B . 1 . 7	検体番号は日付と受付番号をキーとして患者名、患者ID等他の属性登録が無くても検査業務を行えること。
B . 1 . 8	緊急検査の受付は、検査結果問い合わせ画面、検査進捗モニタ画面などにおいて表示・確認ができること。
B . 1 . 9	緊急検査で遅延がある場合、検査進捗表示画面上で遅延の警告をすること。 また、遅延の警告画面より検査結果問い合わせ画面へ移動でき、遅延の原因を容易に把握できること。
B . 1 . 10	分析装置毎に通信状況を表示できるオンライン・モニタ機能を備えること。
B . 1 . 11	オンライン・モニタは、分野別に通信状況を表示できること。 同一分析装置が複数台ある場合は、判別が可能であること。
B . 1 . 12	オンライン・モニタは検査進捗モニタ画面と同時に、任意の台数分の表示ができること。
B . 1 . 13	オンライン・モニタ画面と検査進捗モニタ画面は、1台の検査システム端末に接続された2台のディスプレイそれぞれへの表示が同時にできること。
B . 1 . 14	オンライン・モニタに表示された情報より、検査結果の参照及び承認及び再検指示ができること。
B . 1 . 15	メイン画面のレイアウトは、自由に設定でき端末毎にその内容を保存できること。 また変更された場合に、容易に保存された設定内容に復元できること。
B . 1 . 16	感染症情報を保存できること。 検査結果問い合わせにて感染症情報を表示・確認ができること。
B . 1 . 17	感染症情報と同様に血液型情報を保存できること。 また検査結果問い合わせにて血液型情報を表示できること。
B . 1 . 18	当院が指定する自動分析装置とオンライン接続して、検査依頼情報・検査結果情報の受け渡しができること。
B . 1 . 19	未検査リスト・未承認リスト・未報告リストの画面表示ができ必要時に印字ができること。
B . 1 . 20	検査結果は検体別・項目別・項目グループ別で入力できること。
B . 1 . 21	検査結果に基準値情報・単位が並列に表示できること。
B . 1 . 22	血清情報（乳ビ・溶血・黄疸）の管理ができること。
B . 1 . 23	目視尿沈渣項目の結果入力がキーボードから簡易にできること。
B . 1 . 24	目視血液像項目の結果入力がキーボードから簡易にできること。
B . 2	受付
B . 2 . 1	電子カルテシステムから検査依頼情報を受信し、受付情報を自動登録できること
B . 2 . 2	検査システムのどの操作端末からでも受付でき、受付番号には整合性があること。
B . 2 . 3	検査項目の修正（項目追加・項目変更）は、追加受付画面にて操作可能であること。
B . 2 . 4	受付番号（帯）の自動発番管理ができること。

項 番	機能要件
B	検体検査システム・ソフトウェア（DxLab-LIS S）
B . 2 . 5	患者名・患者ID・性別・生年月日・付帯属性・依頼項目・セット依頼項目などが登録できること。 また、患者属性情報は患者ID入力により患者属性マスタより自動入力できること。
B . 2 . 6	項目一覧からマウス指示で容易に項目登録ができ項目コードでも入力できること。
B . 2 . 7	検査セット登録した検査依頼項目から、単項目の削除ができること。
B . 2 . 8	検査セット項目の内容が展開できること。
B . 2 . 9	緊急検査指示が検査部門ごとに複数指示でき、画面に表示されていること。
B . 2 . 10	検体ラベルの再発行が容器毎にできること。
B . 2 . 11	受付内容の修正、削除ができること。受番削除のときは空き番号とすること。
B . 2 . 12	属性情報として感染症・血液型を表示できること。 感染症陽性の場合はバーコードに注意を促すマークを表示できること。
B . 3	検体ラベル
B . 3 . 1	受付番号・容器番号・患者氏名・患者ID・バーコード・検査材料・科別・オーダーコメント・緊急マーク・感染症マークの印刷ができること。
B . 3 . 2	同じ項目でも依頼科ごとにラベル出力の有無が設定できること。
B . 3 . 3	ラベル出力時に採血容器リスト(必要採血量)ができること。
B . 3 . 4	ラベルの再発行は容器単位で出力できること。
B . 4	検体到着確認
B . 4 . 1	バーコード確認、手入力確認ができること。
B . 4 . 2	採血容器などをバーコードリーダーで読み取り検体到着確認を行い、リアルタイムで指定ラベルプリンタより分注ラベル等が発行できること。
B . 4 . 3	検体到着時に画面に受付情報を表示できること。
B . 4 . 4	検体到着時に画面に他の採血管情報（画像を含む）および検査オーダー項目が表示できる
B . 4 . 5	検体到着時にラベルプリンタより分注ラベルなどが発行できること。
B . 4 . 6	自動分析装置のバーコード読み取り時に自動で到着処理ができ、必要に応じてラベルプリンタより自動で分注ラベルが発行できること。
B . 5	ワークシート発行
B . 5 . 1	各種のワークシート表示・印刷ができること。
B . 5 . 2	ワークシート情報が画面上に表示されること。
B . 5 . 3	用手法ワークシートはすでに検査済み項目について結果表示がされること。
B . 6	データ入力
B . 6 . 1	自動分析装置の接続
B . 6 . 1 . 1	病院指定の11機種13台の自動分析装置を接続すること。
B . 6 . 1 . 2	上記機器と依頼、結果送受信がリアルタイムで双方向通信できること。画像等の情報がある場合は取り込めること。 なお、分析機器の接続仕様に制限がある場合には、分析機器の接続仕様に従うこと。
B . 6 . 1 . 3	上記機器との接続は、個別の検査端末に依存しないサーバ集中管理方式とすること。
B . 6 . 2	データ入力全般
B . 6 . 2 . 1	結果手入力が可能で入力担当者を報告書に印字すること。 結果入力画面で異常値を赤色表示できること。
B . 6 . 2 . 2	再検査項目結果について色分けをして表示し識別ができること。
B . 6 . 2 . 3	コード入力が可能なこと。コードはあらかじめ設定されたマスタから引用されること。
B . 6 . 2 . 4	項目ごとに一括入力ができること。 入力方法は受付番号範囲を指示し、結果値を入力すること。
B . 6 . 2 . 5	緊急受付が識別できるようにマークまたは色分け表示を行うこと。
B . 6 . 2 . 6	前回値表示機能を備えること。
B . 6 . 2 . 7	入力データにH、Lマークを自動付加し、報告書にも反映できること。

項 番	機能要件
B	検体検査システム・ソフトウェア（DxLab-LIS S）
B . 7	検査結果問い合わせ
B . 7 . 1	前回値、前々回値の表示ができること。
B . 7 . 2	検査結果を前回値、前々回値とともに1画面表示ができること。
B . 7 . 3	主な患者属性が検査結果と同時に表示できること。
B . 7 . 4	検査結果は生化学、血液などの検査部門ごとに別々または一括した表示ができること。
B . 7 . 5	簡単な操作で結果表示画面から遷移して時系列の表示、グラフ表示、印字ができること。
B . 7 . 6	簡単な操作で結果表示画面から遷移して結果変更、項目追加等の受付情報変更、患者属性確認、報告書の印字ができること。
B . 7 . 7	簡単な操作で結果表示画面から遷移して、再検査指示などの再検査処理ができること。
B . 7 . 8	日付範囲、患者番号、患者氏名、依頼元、医師名などの検索条件に従い該当実施患者を検索し、結果の表示ができること。
B . 7 . 9	再検査中の項目を識別できるように色分けされていること。
B . 7 . 10	基準値の高低より逸脱している項目が識別できるように色分けされていること。
B . 7 . 11	部門切り替えにより検査項目表示が変更できること。
B . 7 . 12	患者属性および依頼元・医師コード・医師名により検索ができること。
B . 7 . 13	検体コメントが表示できること。
B . 8	再検査指示
B . 8 . 1	任意項目ごとに再検査指示ができること。
B . 8 . 2	前回値、前々回値が表示できること。
B . 8 . 3	項目ごとに検査結果を承認できる機能を備えること。
B . 8 . 4	再検結果値は、5回以上を確認できること。
B . 9	検査報告値の確定
B . 9 . 1	検査結果を確認し確定させる検査報告値の承認機能があること。
B . 9 . 2	確定を容易に行う為に基準値、前回値差／比を基準としてデータの自動チェックを行い範囲から外れるものについて色分け等で区別して表示できること。
B . 9 . 3	自動チェックによる検査報告値の自動承認が行えること。
B . 10	オンラインモニタ（分析機モニタ）
B . 10 . 1	分析機から受信した結果をリアルタイムで確認する機能を備えること。
B . 10 . 2	検査結果を分析機毎に確認、承認できること。
B . 10 . 3	分析機毎の結果確認画面では、前回値、前々回値と共に結果を確認できること。
B . 10 . 4	分析機毎の結果確認画面で、初検値と再検値の選択ができること。
B . 11	検査報告書発行
B . 11 . 1	指定する書式の報告書の発行ができること。
B . 11 . 2	検体番号・患者名・患者ID・検査材料・科別・担当医師・検査担当員・最終報告日を印字すること。
B . 11 . 3	印刷順(受付番号順、依頼元別受付番号順など)を指定できること。
B . 11 . 4	日付範囲、受付番号範囲、依頼元範囲、病棟範囲を指定して出力できること。
B . 11 . 5	再発行ができ、再発行報告書に「再発行」のコメントおよび再発行日と発行日が付けられること。
B . 11 . 6	任意の報告場所を指定して再発行できること。
B . 11 . 7	緊急検体のみ、緊急検体以外を指定して出力できること。 緊急検体には緊急コメントを付けられること。
B . 11 . 8	自動承認または承認されたデータが報告書として印字されること。
B . 11 . 9	院内ネットワーク上に接続された、電子カルテ付属のプリンタから至急報告書を出力できること。
B . 12	未検査リスト
B . 12 . 1	任意の検査部門について未検査項目を受付単位に画面表示できること。

項 番	機能要件
B	検体検査システム・ソフトウェア（DxLab-LIS S）
B . 12 . 2	未検査リスト帳票が表示、印刷できること。
B . 13	患者時系列
B . 13 . 1	同時に6回以上の時系列表示ができること。 またスクロールで過去履歴を全部表示できること。 過去履歴表示は、任意期間範囲での全表示であること。
B . 13 . 2	部門ごとに項目表示できること。
B . 13 . 3	時系列表示項目は今回項目および過去の測定項目すべての表示項目を選択、設定ができること。
B . 13 . 4	任意項目のみの時系列表示ができること。
B . 13 . 5	任意の時系列データを、抽出し加工できること。
B . 14	受付・検査台帳機能
B . 14 . 1	検査受付台帳の作成ができること。
B . 14 . 2	検査部門ごとに表示、印字ができること。
B . 14 . 3	異常値リストの表示、印字ができること。
B . 15	統計集計機能
B . 15 . 1	各種統計ファイルを表計算ソフトウェアで読み込める形式で出力し利用できること。
B . 15 . 2	検査部門、依頼元、医師、項目別の件数を表示、印字できること。
B . 15 . 3	依頼元別に項目集計ができること。
B . 15 . 4	外来、病棟別に集計ができること。
B . 15 . 5	改正医療法に沿った報告件数、日報等が出力できること。
B . 16	精度管理機能
B . 16 . 1	日内変動管理表を表示、印字できること。
B . 16 . 2	月内変動管理表を表示、印字できること。
B . 16 . 3	X-Rs-R管理図の表示、印字ができること。
B . 16 . 4	ツインプロット図を表示、印字できること。
B . 16 . 5	コントロールロット情報を入力できること。
B . 16 . 6	精度管理コントロール成績値がグループごとにリアルタイムに1画面で確認できること。
B . 16 . 7	表示期間を任意に選択できること。
B . 17 .	業務管理機能
B . 17 . 1	検査業務の流れに沿ってタイムスタンプを設定し、各業務にかかる時間を記録して、TAT解析を行う機能を備えること。
B . 18 .	データ抽出機能
B . 18 . 1	患者ID・依頼元・検査日等の検査属性条件により、検査データを抽出して、表示できる
B . 18 . 2	抽出データをCSVファイル等に変換して、任意のメディアに出力できること。
B . 18 . 3	抽出データを印字できること。
B . 19 .	検体ラベル印字設定機能
B . 19 . 1	容器ごとにラベル書式設定ができること。
B . 19 . 2	ネットワーク経由でラベルプリンタに出力ができること。
B . 19 . 3	緊急マーク印字ができること。
B . 19 . 4	感染症陽性者にマークが印字できること。
B . 20	電子カルテシステム連携
B . 20 . 1	電子カルテシステムと連携して検査依頼情報を受信できること。
B . 20 . 2	電子カルテシステムと連携して検査結果情報を送信できること。
B . 20 . 3	電子カルテシステムと連携して到着確認情報を送信できること。
B . 20 . 4	電子カルテシステムとの接続仕様・コード連携内容は、現状を踏襲すること。
B . 20 . 5	電子カルテシステムとの連携（打ち合わせ、テスト、稼働）の対応を行うこと。
B . 20 . 6	電子カルテシステム更新時に電子カルテメーカー指定の対応を行うこと。

項 番	機能要件
B	検体検査システム・ソフトウェア（DxLab－LIS S）
B . 21	輸血管理システム連携
B . 21 . 1	輸血管理システムに輸血検査依頼情報を送信できること。
B . 21 . 2	輸血管理システムと連携して輸血検査結果情報を受信できること。
B . 21 . 3	輸血管理システムと連携して患者属性情報を送信できること。
B . 22	外注委託検査
B . 22 . 1	当院が指定する外注検査委託先業者：4社とデータ連携を行うこと。
B . 22 . 2	受付登録項目依頼情報をもとに外注検査依頼情報を抽出し、検査依頼リストおよび検査依頼ファイルを作成できること。
B . 22 . 3	結果情報ファイルから結果情報を取り込み、検査システムデータベースに取り込めること。
B . 23	マスタメンテナンス
B . 23 . 1	マスタメンテナンス画面を有し、検査項目・試薬・患者属性等の編集作業ができること。
B . 23 . 2	マスタメンテナンスを実施する前にマスタ情報のバックアップを簡単な操作で取ることが出来、必要に応じてマスタ情報をメンテナンス前の状態にバックアップから戻すことが出来ること。
B . 23 . 3	項目情報は、該当情報の有効期間が設定できる世代管理機能を有すること。
B . 24	その他
B . 24 . 1	現在稼働している検査システムから、データ移行（マスタ情報・検査履歴）を行うこと。
B . 24 . 2	取扱説明書を備えること。

	機能要件
C	輸血管理システム (HD-TRANS)
C . 1	全般
C . 1 . 1	輸血システムクライアントは検査システムクライアントとの相乗りとし、病院が指定する検査システムクライアント1台にインストールすること。
C . 1 . 2	製剤使用履歴20年保存に対応したシステムであること。
C . 2	患者属性の管理
C . 2 . 1	属性情報の管理機能を有すること。
C . 2 . 2	患者属性情報を検査システムから受信できること。
C . 2 . 3	最新検査結果を検査システムへ送信できること。
C . 3	輸血検査業務
C . 3 . 1	輸血検査受付は検査システムとの通信及び手入力で可能なこと。
C . 3 . 2	受付画面では検体のバーコードを読み取り、依頼情報の参照ができること。
C . 3 . 3	受付画面では患者ID、患者名、生年月日、年齢、血液型、依頼元、病棟、依頼医、診断名などの患者属性情報が表示できること。また、受付画面からワンクリックで輸血歴などの患者詳細情報を確認できる画面へ遷移できること。
C . 3 . 4	患者の血液型表示は、血液型を初回または1回しか検査していない場合と2回以上検査している場合を区別した表示ができること。
C . 3 . 5	受付画面では検査依頼項目の表示ができ、追加・削除等が可能なこと。
C . 3 . 6	受付画面からワンクリックで輸血歴などの患者詳細情報を確認できる画面へ遷移できること。
C . 3 . 7	受付画面上で不規則抗体陽性や副作用歴など注意を喚起すべき情報をわかりやすく表示できること。
C . 3 . 8	受付状況一覧の表示機能を有すること。
C . 3 . 9	受付状況一覧画面から結果入力画面へ容易に遷移できること。
C . 3 . 10	受付状況一覧画面では日付範囲、患者氏名、患者ID、検体バーコードで検索ができること。
C . 3 . 11	受付画面上から、検体の削除が可能なこと。
C . 3 . 12	検査業務では、ABO・Rh(D)、抗体スクリーニング試験、不規則抗体価試験、直接クームス試験、間接クームス試験、抗体同定、ABO亜型検査、転移酵素、Rh因子、輸血前患者採血保管の管理ができること。
C . 3 . 13	検査業務では依頼された検査のワークシート発行、結果入力ができること。
C . 3 . 14	結果登録画面では検体のバーコードを読み取ることで情報を表示し、結果入力ができること。
C . 3 . 15	結果登録画面では、検体ごとに依頼された結果を一画面で入力、訂正できること。
C . 3 . 16	カラム毎の凝集値を入力する事で各試験法の結果を自動判定する事が出来る。また、試験法毎の結果により最終結果値を自動判別する事が出来る。
C . 3 . 17	ABO検査結果登録時に、前回の検査結果が不一致の場合警告メッセージを表示すること。
C . 3 . 18	結果登録時に、登録した結果を上位システムへの結果送信をするかどうかを選択できること。

	機能要件
C	輸血管理システム (HD-TRANS)
C . 3 . 19	検査報告書の発行ができること。
C . 3 . 20	確認済の検査結果は検査システムに送信できること。
C . 4	輸血管理業務支援機能
C . 4 . 1	輸血業務受付は手入力で可能なこと。
C . 4 . 2	受付状況一覧の表示機能を有すること。
C . 4 . 3	受付状況一覧から製剤管理画面へ容易に遷移できること。
C . 4 . 4	受付状況一覧画面では使用日付範囲、依頼申込日範囲、伝票番号範囲、患者氏名、患者ID、オーダ番号で検索ができること。
C . 4 . 5	製剤管理画面は伝票番号ごとに製剤の割付、血型確認、交差試験、払出、使用、返納、受領、預りの処理が一画面で行える設計であること。
C . 4 . 6	製剤管理画面では患者ID、患者名、生年月日、年齢、血液型、依頼元、病棟、依頼医、診断名、術式などの患者属性情報が表示できること。また、受付画面からワンクリックで輸血歴などの患者詳細情報を確認・修正できる画面へ遷移できること。
C . 4 . 7	製剤管理画面から伝票番号ごとに必要なラベルや帳票の出力ができること。
C . 4 . 8	患者の血液型表示は、血液型を初回または1回しか検査していない場合と2回以上検査している場合を区別した表示ができること。
C . 4 . 9	製剤管理画面では輸血同意書の有無の確認、登録が可能なこと。
C . 4 . 10	製剤管理画面では、感染症、血算などの検査結果情報の参照ができること。
C . 4 . 11	製剤管理画面からワンクリックで輸血歴などの患者詳細情報を確認できる画面へ遷移できること。
C . 4 . 12	製剤管理画面上で不規則抗体陽性や副作用歴など注意を喚起すべき情報をわかりやすく表示できること。
C . 4 . 13	製剤管理画面では、依頼製剤の種別、単位数、依頼血型を表示できること。依頼血型は型ごとに色別の表示ができること。
C . 4 . 14	不規則抗体検査について前回の検査から一定期間以上経過、もしくは前回の検査以降に赤血球製剤の輸血が実施された場合には、製剤管理画面上でその旨が分かる表示ができること。
C . 4 . 15	コンピュータクロスマッチ対応の対象患者である場合、製剤管理画面上で一目でわかる表示ができること。
C . 4 . 16	交差試験未実施製剤、血液型検査が2回未満の場合や患者血液型と異なる血液型製剤、あるいは未照射製剤や期限切れ製剤を出庫しようとした場合には警告表示または禁止できる機能を有すること。
C . 4 . 17	割付、払出、使用、受領、返納処理は血液製剤ごとに管理できること。
C . 4 . 18	割付、払出、使用、受領、返納処理は、誤った処理をしてしまうことが無いよう、処理が可能になるまでボタンを押せないなどの措置が取られていること。
C . 4 . 19	割付処理は、同一製剤の複数患者への割付に対応していること。複数患者割付済みの製剤払出時に他の患者の割付解除の情報を表示できること。
C . 4 . 20	異型製剤が割付されようとしている場合に、禁止もしくは注意を喚起する機能を有すること。
C . 4 . 21	割付時の処理方法は、製剤の2次元バーコード、1次元バーコード、キーボードによるロット番号入力、在庫製剤からの選択、いずれにもに対応していること。
C . 4 . 22	割付処理を行う際に読み取った製剤が未在庫製剤であった場合には、製剤在庫画面へ自動遷移し、在庫処理ができること。また、在庫後には割付処理ができること。
C . 4 . 23	交差試験結果、適合判定結果の登録ができること。
C . 4 . 24	交差試験結果入力画面では患者ID、患者名、生年月日、年齢、血液型などの患者属性情報が表示できること。また、受付画面からワンクリックで輸血歴などの患者詳細情報を確認できる画面へ遷移できること。

C. 輸血管理システム仕様

	機能要件
C	輸血管理システム (HD-TRANS)
C . 4 . 25	患者の血液型表示は、血液型を初回または1回しか検査していない場合と2回以上検査している場合を区別した表示ができること。
C . 4 . 26	交差試験結果入力には全ての検査法を一括で“-”を登録することができること。また、一括で登録した場合には適合判定を自動で判定できること。
C . 4 . 27	適合とした方法(コンピュータクロスマッチ・生食法・クームス法など)が製剤毎に記録できること。
C . 4 . 28	交差試験適合票、交差試験報告書の出力ができること。
C . 4 . 29	払出時の処理方法は、製剤の2次元バーコード、1次元バーコード、キーボードによるロット番号入力、割付済製剤からの選択、いずれにもに対応していること。
C . 4 . 30	払出時に未照射製剤であった場合には、警告メッセージを表示し、照射情報の登録ができること。
C . 4 . 31	使用情報、返納情報、副作用情報を手入力できること。
C . 4 . 32	使用、返納時の手入力時の処理方法は、製剤の2次元バーコード、1次元バーコード、キーボードによるロット番号入力、在庫製剤からの選択、いずれにもに対応していること。
C . 4 . 33	副作用情報は、発生時間、発生までの時間、症状項目、確認Dr、確認Ns、副作用診断、症状の詳細、対応処置、特記事項を登録でき、副作用発生報告書の印刷ができること。
C . 5	製剤管理業務支援機能
C . 5 . 1	赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤、自己血製剤、その他製剤の管理ができること。
C . 5 . 2	製剤情報表示は製剤種別ごとに一覧表示ができること。
C . 5 . 3	製剤情報一覧から依頼情報の製剤詳細画面へ容易に遷移できること。
C . 5 . 4	製剤情報一覧では最終処理日付範囲、ロット番号、患者番号で検索できること。
C . 5 . 5	製剤情報一覧では製剤のステータス(割付、払出、使用、返納、返品、分割)、有効期限切れで絞り込み表示ができること。
C . 5 . 6	製剤情報一覧画面上では、製剤名称、型別のバッグ数を表示でき、バッグ数は一覧に表示されている条件と連動していること。
C . 5 . 7	製剤発注表の印字ができること。また、輸血依頼確定時に製剤の在庫が無い場合には、依頼確認画面より遷移し、発注ができること。
C . 5 . 8	2次元バーコード、1次元バーコード、ロット番号のキーボード入力により製剤の検索ができること。
C . 5 . 9	製剤情報詳細画面では、製剤情報、ステータス(割付など)使用履歴、交差歴、が一画面で確認できること。また複数の患者に割付された情報を表示できること。
C . 5 . 10	製剤情報詳細画面上で、パック廃棄、製剤分割の処理ができ、情報の入力、管理ができること。
C . 5 . 11	製剤情報詳細画面では、製剤の返品・廃棄処理ができること。
C . 5 . 12	製剤情報詳細画面からも割付、払出、使用、返納、預り、受領、交差試験結果登録処理ができること。また、誤って処理することがないように、処理可能になるまではボタンが押せ
C . 5 . 13	製剤情報詳細画面より製剤ラベルの印字ができること。
C . 5 . 14	在庫管理日報の印字ができること。
C . 5 . 15	製剤入庫は2次元バーコード、1次元バーコード、手入力による入庫ができること。
C . 5 . 16	1次元バーコードで入庫時にはバーコードの読み取り順をランダムにしても入庫ができること。
C . 5 . 17	入庫日報、入庫リストの印字ができること。
C . 5 . 18	製剤の在庫数量を製剤名称別、型別、ステータス別に表示できる画面を有すること。
C . 6	在庫情報統計確認機能
C . 6 . 1	受付状況一覧画面の検索条件および検索順指定機能を有すること。
C . 6 . 2	製剤保管状態情報、対象患者情報の表示および管理機能を有すること。

	機能要件
C	輸血管理システム（HD-TRANS）
C . 7	統計・集計
C . 7 . 1	血液型検査の受付、検査実績台帳が印刷できること。また、血液型検査の依頼区分（通常、交差用）ごとに個別に印刷ができること。
C . 7 . 2	輸血実施台帳の印刷ができること。輸血実施台帳は患者ごとにまとめた印刷ができること。
C . 7 . 3	輸血件数統計の印刷ができること。また、製剤別、依頼元別でも実施集計が印刷できること。
C . 7 . 4	年代別、男女別の輸血状況の統計が取れること。
C . 7 . 5	製剤入庫・使用・廃棄リストの印刷ができること。
C . 7 . 6	製剤在庫管理日報の印刷ができること。
C . 7 . 7	製剤使用状況の印刷ができること。仕様状況は、依頼科、病棟、使用場所別でも印刷でき
C . 7 . 8	製剤統計が印刷できること。製剤統計は依頼科、病棟別でも印刷できること。
C . 7 . 9	製剤入出庫集計が印刷できること。
C . 7 . 10	自己血採血台帳の印刷ができること。
C . 7 . 11	自己血輸血実施台帳の印刷ができること。
C . 7 . 12	各種台帳・統計は日報、週報、月報、年報、年度報、任意の期間指定、で印刷できること。
C . 7 . 13	各種台帳・統計はエクセルファイル形式で保存ができ、データの2次利用が可能であること。
C . 8	データ管理
C . 8 . 1	血液製剤、薬品、検査項目、結果展開テーブルを新規作成、追加、編集できるメンテナンス機能を有すること。
C . 8 . 2	ユーザ権限をマスタにて設定できること。
C . 8 . 3	マスタは管理者権限を持つユーザのみが編集できるようになっていること。
C . 8 . 4	手術用準備血の使用結果に基づき術式別の輸血量を算出できること。
C . 8 . 5	輸血製剤のC/T比を診療科別、術式別に算出できること。
C . 8 . 6	製剤使用履歴20年保管に対応していること。
C . 8 . 7	検査歴、輸血歴、副作用歴、は患者単位で確認できる画面を有すること。
C . 8 . 8	製剤ごとに使用履歴が追跡できること。

	機能要件
C	輸血管理システム（HD-TRANS）
C . 8 . 9	製剤が複数の患者に割付された場合には、製剤使用履歴上で追跡、確認できること。
C . 9	検体保管機能
C . 9 . 1	輸血前後保存検体の登録ができること。
C . 9 . 2	輸血前、輸血後の保存検体の保存場所の登録ができること。
C . 9 . 3	検体のバーコードを読み取り、保管場所の登録ができること。
C . 9 . 4	連続してバーコードを読み取り、登録ができること。
C . 9 . 5	ラック情報を編集できること。
C . 10	その他
C . 10 . 1	院内のセキュリティポリシーに則り、当院設置のリモート回線を使用して、当院からの求めに応じてリモートメンテナンスを適時実施できること。
C . 10 . 2	取扱説明書を備えること。

項 番	機能要件
D	検体検査/輸血管理システム・ハードウェア仕様
D . 1	検体検査/輸血管理システム・サーバ構成
D . 1 . 1	検査システム・サーバは、電源やメモリ、ファンなど、システム停止につながる障害の原因となるハードウェアを二重化した、高可用性を担保する機器を用意すること。
D . 1 . 2	OSは、WindowsServer2022相当以上とすること。
D . 1 . 3	CPUは、intelXeon以上の性能を有すること。
D . 1 . 4	搭載メモリは、32GB以上であること。
D . 1 . 5	ディスクアレイは、RAID5構成とし、実質使用可能容量は960GB以上とすること。
D . 1 . 6	無停電電源装置を用意すること。
D . 1 . 7	無停電電源装置管理ソフトを導入すること。
D . 1 . 8	バックアップ用機器(NAS、外付けHDDなど)を設置すること。
D . 1 . 9	バックアップ用ソフトを導入すること。
D . 1 . 10	バックアップ用ソフトを用いて、日次でバックアップを行うこと。
D . 1 . 11	自動的にデータバックアップを行うこと。
D . 1 . 12	障害時の迅速な復旧対応ができること。
D . 1 . 13	システム動作に必要なデータベース等ミドルウェアのライセンスを有すること。
D . 1 . 14	サーバや無停電電源装置を格納するサーバラックを用意すること。
D . 1 . 15	検体検査と輸血管理を同一サーバ上で構築すること。
D . 2	デスクトップ型クライアントPC
D . 2 . 1	デスクトップ型クライアントは合計13台用意すること。
D . 2 . 2	OSは、Windows11 Proとし、OSリカバリメディアを1セット付属すること。
D . 2 . 3	カラー液晶ディスプレイは21インチ以上で、フルHD表示に対応すること。
D . 2 . 4	CPUは、intel Corei5-13500以上の性能を有し、省電力タイプではないものとする。
D . 2 . 5	搭載メモリ 1 枚構成で16GB以上であること。
D . 2 . 6	SSD(ソリッドステートドライブ)を512GB以上搭載していること。
D . 2 . 7	1Gbps以上の通信速度を有する有線LANを搭載していること。
D . 2 . 8	USB光学式マウス・USBキーボードを有していること。
D . 3	検体ラベルプリンタ
D . 3 . 1	検体ラベル発行用のラベルプリンタを4台用意すること。
D . 3 . 2	50mm×30mm以上のラベルを印字できること。
D . 3 . 3	印刷密度は200dpi以上であること。
D . 3 . 4	ラベルプリンタは小林クリエイティブ社ip70と同等品を用意すること。
D . 4	プリンタ
D . 4 . 1	A4用紙に印字可能なモノクロレーザープリンタを1台用意すること。
D . 4 . 2	A4用紙に両面印刷可能なカラーレーザープリンタを1台用意すること
D . 5	バーコード・リーダー
D . 5 . 1	1次元バーコード・ラベル読み取り用のハンディ型バーコード・リーダーを4台用意する
D . 5 . 2	2次元バーコードラベル読み取り用の据え置き型バーコード・リーダーを2台用意するこ
D . 5 . 3	2次元バーコードラベル読み取り用のハンディ型バーコード・リーダーを1台用意するこ
D . 6	その他
D . 6 . 1	検査システムを構成するネットワーク接続機器は、当院の指示に従い構築すること。

項 番	機能要件
E	その他
E . 1	
E . 1 . 1	ネットワーク設備、電源設備等においても調査を行い、各関係者と確認を行ったうえで必要な措置を講じること。
E . 1 . 2	契約金額には上記に関する金額をすべて含むこと。
E . 1 . 3	円滑な運用体制が整うまで、運用及び操作習熟のための教育、訓練を行うこと。
E . 1 . 4	操作マニュアルを提供すること。
E . 1 . 5	本仕様書に疑義が生じた場合、あるいは定めのない事項については、双方の担当者が協議し、協議の結果を文書で記録すること。
E . 1 . 6	契約書作成に係る費用、銀行振込手数料は受注者にて負担すること。